

いずみしょうがっこう
和泉小学校のみなさん、おはようございます。

先ほど、5年生があいさつで言ってくれたように、今日から緊急事態宣言が解除になりました。少し、ホッとしたような開放感がありますが、ここで油断すると、ふたたび感染者数は増えることになります。引き続き、換気、マスク着用、手洗い、アルコール消毒など、感染予防対策をしっかりとっていきましょう。

さて、今日は、この写真をみなさんにお見せしたいと思います。(校庭の桜の写真)この写真は、先週撮ったものです。桜の花が、5つほど咲いていますね。次に、今朝撮った写真をお見せします。(今朝の桜の写真)どうですか？何日もたっていないのに、こんなにたくさん咲きました。私は、今朝の桜を見て、思わず「笑顔」になりました。

今日は、「笑顔をたいせつに」というお話をします。

今週の水曜日には「修了式」、木曜日には「卒業式」があります。今週で、今の学年が終わるわけですが、みなさん「笑顔」で終われそうですか？私は、すべての児童のみなさんが、一人残らず「笑顔」で終われるような気がしています。

「笑顔」といえば、私が好きな言葉に、こんな言葉があります。

「笑う門には 福来る」です。

いつも笑っていると、周りの人たちも「笑顔」になって、良いことや幸せが舞い込んでくる、というような意味です。「笑顔」って不思議ですよ。

ところで、どんな時に、「笑顔」になるでしょう。私は、次のようなことを考えました。

○おいしいものを 食べたとき

○たのしいことを したとき

○好きなことに しゅうちゅうしたとき など、「笑顔」になりますね。

他にも、人からなにかをしてもらったときとして、

○やさしくされたとき

○「あそぼ！」といわれたとき

○やさしいね！といわれたとき など、「笑顔」になります。

さらに、自分から人になにかをしたときも、「笑顔」になるかなと思います。

○人が よろこんでくれたとき

○人の やくにたてたとき

○人に やさしくできたとき

もっと、深く考えると、

○ともだちが がんばっているとき

○ともだちが ほめられたとき

○ともだちが うまくいったとき など、「笑顔」になっていますか？

一方、こんなとき笑うの？という、人をあざけわらう笑いもあります。難しい言い方で「嘲笑(ちょうしょう)」と言います。人をちょっとバカにしたような笑いのことです。

○ともだちが なやんでいるとき

○ともだちが しかられたとき

○ともだちが しっばいしたとき など、「笑顔」になっていないですよね？

和泉小学校のみなさんは、このような時に笑う人は1人もいないと思います。

お医者さんで、作家の斎藤茂太さんは、このような言葉を残しています。

「なにを 笑うかで 人間がわかる」 と言いました。

人がいやな思いをする笑いではなく、自分も人も、幸せになる「笑顔」をたいせつにしていってほしいなと思います。

今年1年間をふりかえって、たくさんの「笑顔」に会いました。来年度、新しい学年でも、人を幸せにする「笑顔」を大切にしていってください。

今日は、「笑顔をたいせつに」というお話をしました。